

実質化した人・農地プランの概要

山形県最上町
沢原地区

中間
農業地域

最上町のホームページ <https://mogami.tv/life/03nousyokou/06hito-nouti-plan.php>

対象地区の状況

地区内の耕地面積	94.1ha
70歳以上の農業者の耕作面積	4.0ha
うち後継者未定	2.1ha
うち後継者不明	0ha
中心経営体	7経営体
現状の経営面積	29.3ha
今後の経営面積	47.3ha
今後の引受意向（拡大分）	18.0ha

年齢分布図面



対象地の課題

- ・地区全体の高齢化が進んでおり、今後、農地を担える人材不足の懸念がある。
- ・山間部の農地が多く、圃場条件が悪い場所については、作業効率が悪い。
- ・鳥獣被害が増加傾向にある。

将来方針

- ・水田は、認定農業者、集落営農組織を中心とした3経営体が担う。
- ・畑地は、基盤整備により団地化を図ることにより、圃場条件の改善、農地集約により、高収益作物の作付面積拡大を目指す。

将来方針を実現するための取組方針

- ・認定農業者と集落営農組織、新規就農者を中心として地域の様々な問題点の共有をしていく。
- ・令和2年度より、川に沿って展開する約9.1haの水田地帯を基盤整備し、高収益作物の団地化を目指している。
- ・農業をリタイア・経営転換する人は原則、農地中間管理機構に貸し付けていく。
- ・鳥獣被害について、関係機関と情報共有しながら、適切な対策に取り組む。